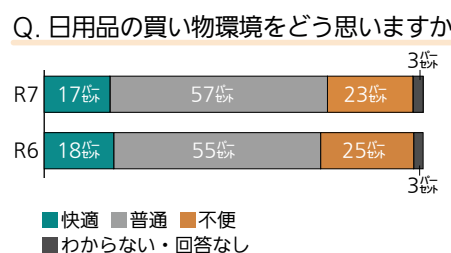
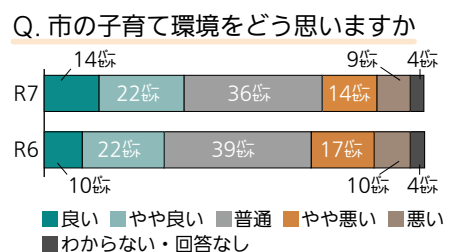
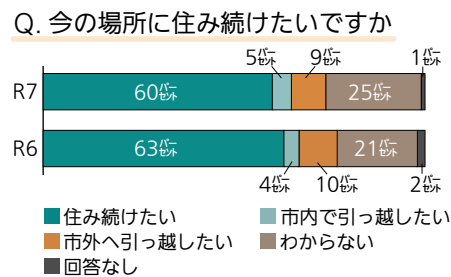


■調査結果の一部



市民の暮らしの現状を知り、市政への意見をより良いまちづくりに反映させるため「市民意識調査」を実施しました。詳しい調査結果は、市ウェブサイトで確認できます。

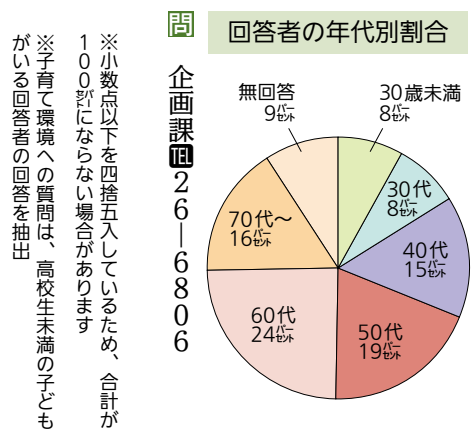
□対象 18歳以上の市民から2500人を無作為に抽出

□調査方法 調査票を郵送し、郵送かオンラインで回答を回収

□調査時期 令和7年8月

□回収数 1404件

□回収率 56・2%



第3次総合計画の推進や今後のまちづくりに活用します

市民意識調査の結果を公表



市ウェブサイト
市民意識調査のページ

| 種類 | 住宅名 | 所在地 | 構造 | 間取り | 戸数 | 家賃 |
|----|----------|-----|------|------|----|-----------------|
| 市営 | 鏡山住宅 | 大井町 | 集合住宅 | 3LDK | 1 | 22,400円～44,000円 |
| | | | | 2LDK | 1 | 18,300円～36,000円 |
| | | | | 2LDK | 1 | 19,000円～37,400円 |
| | 大洞住宅 | 長島町 | 集合住宅 | 3DK | 1 | 14,000円～25,100円 |
| | | | | 4DK | 1 | 20,200円～39,600円 |
| | 田沢団地 | 山岡町 | 戸建住宅 | 3DK | 1 | 19,500円～38,300円 |
| | | | | 3LDK | 2 | 22,300円～43,800円 |
| | 滝坂ハイイツ15 | 明智町 | 集合住宅 | 3DK | 1 | 19,500円～38,300円 |
| | | | | 3DK | 2 | 19,800円～38,900円 |
| | 滝坂ハイイツ21 | 明智町 | 集合住宅 | 2LDK | 1 | 21,800円～42,800円 |

□対象 住宅に困っていて市税の滞納がなく、親族と同居できる方（所得制限あり）

※詳しい条件や住宅の設備などは、問い合わせください

□申し込み方法 建築住宅課窓口で申込書入手し、必要書類を添えて申し込む。

※窓口に来る前に連絡ください

□申込期間 2月2日(月)～13日(金)

※受け付けは平日のみ

□決定方法 選考（抽選の場合あり）

□入居可能日 3月下旬

□その他 若者住宅（明智町、上矢作町）、特定公共賃貸住宅（串原）、定住促進住宅（飯地町）、一般住宅（串原）は、入居者を随時募集しています。

申・問 建築住宅課（本庁舎2階） ☎26-6840



大切な権利を放棄しないで
投票に出かけましょう

2月8日は 衆議院議員総選挙



選挙の種類

小選挙区選挙・比例代表選挙・最高裁判所裁判官国民審査

最高裁判所裁判官国民審査のみ
2月1日(日)から投票が始まります。1月28日(水)～31日(土)に期日前投票をした方は、国民審査のために再度入場できます（当日投票含む）。

2月8日(日)午前7時～午後8時（笠置町、中野方町、飯地町、山岡町、明智町、串原、上矢作町は午後7時まで）

期日前投票に行くことができない方で、仕事や出産などで市外に滞在している方や、指定の病院や老人ホームなどの施設に入院、入所している方は、事前に手続きをすることで不在者投票ができます。

投票所入場券に記載された投票所※入場券がなくても本人確認ができれば投票できます

期日前投票に行くことができない方で、仕事や出産などで市外に滞在している方や、指定の病院や老人ホームなどの施設に入院、入所している方は、事前に手続きをすることで不在者投票ができます。

市選挙人名簿に登録されている方で①平成20年2月9日までに生まれた方②令和7年10月26日までに転入届を提出し、引き続き恵那市に居住している方

期日前投票に行くことができない方で、仕事や出産などで市外に滞在している方や、指定の病院や老人ホームなどの施設に入院、入所している方は、事前に手続きをすることで不在者投票ができます。

■期日前投票

□市役所会議棟 1月28日(水)～2月7日(土)午前8時半～午後8時

□各振興事務所 2月2日(月)～7日(土)午前8時半～午後6時

※入場券が届いていなくても本人確認ができれば投票できます

期日前投票に行くことができない方で、仕事や出産などで市外に滞在している方や、指定の病院や老人ホームなどの施設に入院、入所している方は、事前に手続きをすることで不在者投票ができます。

■郵便投票

重度の障がいがある方や要介護5の方で要件に該当する方は、事前に手続きをすることで郵便投票ができます。

地域に新たな価値を生み、地域に貢献する施設を目指して

広域ごみ処理施設候補地選定に向けて

市は、令和15年度の稼働を目指し、中津川市とごみ処理の広域化に向けた話し合いを進めています。

現在、広域ごみ処理施設の建設候補地の選定を進めています。

■これまでの経緯

昨年4月から7月末に、建設候補地の公募を行いました。応募はありませんでした。

そこで、10月から11月末に建設候補地選定のための検討資料として土地の情報提供を募集。地域の皆さんや土地所有者の方から多くの情報が寄せられました。

■建設候補地の選び方

寄せられた土地の情報をもとに、中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会が、公平で客観的な評価を行い、複数の候補地を挙げます。

三段階の評価を経て候補地が選定された後、その地域に住む皆さんを

候補地の選定

三次評価
収集運搬の効率や周辺環境への影響などの確認

二次評価
関係法令や地形などの確認

一次評価
面積やアクセスなど、基本条件の確認

新しい施設でごみ処理の効率を高め、環境への負担を減らします。より安心安全なごみ処理施設を実現するために、広域化は必要な取り組みです。

対象に説明会を開催します。丁寧な説明を行い、話し合いを重ねながら進めます。

問 環境課 ☎26-6847、中津川・恵那広域行政推進協議会 ☎26-1111（内線411）

市ウェブサイト
広域ごみ処理のページ

高谷登美子氏プロフィール

- ・関市在住
- ・74歳の時に「アルツハイマー型認知症」と診断される
- ・現在はデイサービスや訪問介護サービスを利用し、家族の見守りのもと一人暮らしをしている
- ・77歳の時に「岐阜県認知症希望大使」の委嘱を受け、地域で前向きに暮らす姿や自身の体験、思いを発信する活動をしている
- ・フィリピンのマリンドゥケ島に移住していた経験があり、島の活性化のための活動や、現地の人の働く場を作り技術指導などをしていた



岐阜県認知症希望大使とは

認知症になっても希望を持って前向きに暮らしている姿を、自らの言葉で発信する方。岐阜県が委嘱します。

他の認知症の人や地域の人たちが、認知症について希望を見だし、住み慣れた地域の中で自分らしく暮らし続けられるようになることを目的に、活動しています。

県認知症希望大使として活動する高谷登美子氏を講師に招き、認知症への理解を深め、認知症になっても笑顔で暮らせる地域を考える講演会を開催します。

□とき 2月28日(土)午後1時半～3時

□ところ 市消防防災センター

□定員 100人(先着順)

□料金 無料

□申し込み方法 申し込みフォームから申し込み、電話で申し込み。

※講師やその家族へ質問がある場合は、事前に受け付けます

■・問 地域包括支援センター 26-6828

認知症になっても 笑顔で暮らせる地域を目指して 認知症の当事者が 思いを語る講演会



◀申し込みフォーム

第35回 市伝統芸能大会



「つなごう 伝えよう 恵那の伝統芸能」をテーマに、市伝統芸能大会を開催します。

地歌舞伎や文楽、囃子などの伝統芸能の他、創作黙劇「御目見得暗闘」の上演があります。

また、花道展や呈茶コーナー、地域特産品の販売、大井文楽人形の展示などもあり、どなたでも楽しめます。

□とき 2月15日(日)午前10時～午後5時

□ところ 恵那文化センター

□料金 無料

■問 (公財) 市文化振興会 26-6917

【出演】

- 大井文楽保存会
- 中野方めれた囃子保存会
- 大井恵那峡とんとん節保存会
- 明智町歌舞伎保存会
- 神田昌味と日に日に熟成会
- 飯地五毛座歌舞伎保存会
- 岩村町獅子舞保存会
- 明智太鼓保存会
- 浅間七福万歳保存会
- 御目見得暗闘(市内各団体代表出演)



テーマは「今、私が一番大切に思うこと」 エッセーと短歌を募集 第23回下田歌子賞の 入賞者

郷土の先人、下田歌子を顕彰する「下田歌子賞」。全国から4112作品の応募があり、審査の結果、入賞作品が決まりました。

入賞者のうち、市内在学の方を紹介します(敬称略)。

■エッセー

- 小学生の部(応募数154点)
- ▽優秀賞Ⅱ 勝明凛(長島小学校2年)
 - ▽渡邊望心(長島小学校5年)
 - ▽佳作Ⅱ 今井陽菜乃(長島小学校6年)
 - ▽遠藤航平(長島小学校4年)
 - ▽酒井ひより(武並小学校5年)
 - ▽土田祥平(長島小学校6年)
 - ▽山本陽菜(武並小学校5年)
 - ▽豊鳴協議会賞Ⅱ 加納太葵(岩邑小学校6年)
- 中高生の部(応募数962点)
- ▽佳作Ⅱ 太田和花(岩邑中学校3年)



■短歌

- 小学生の部(応募数1191点)
- ▽最優秀賞Ⅱ 宇野雅(岩邑小学校2年)
 - ▽入選Ⅱ 青木彩乃(大井小学校6年)
 - ▽安藤要仁(串原小学校4年)
 - ▽伊藤璃咲(大井第二小学校6年)
- 中高生の部(応募数1179点)
- ▽入選Ⅱ 田島煌土(恵那農業高校2年)
 - ▽藤谷二花(明智中学校3年)

■問 社会教育課 26-6853



▲賞状を受け取る宇野雅さん

障がい者の新しい働き方と 社会とのつながりを考える 分身ロボットと 開発者による講演会



© OriLab Inc.



◀市ウェブサイトオリヒメ講演のページ

「人と人をつなぐロボット」をコンセプトに開発された分身ロボット「OriHime」。

開発者の吉藤オリ氏と同ロボットのパイロット(操作する人)を講師に招き、分身ロボットの仕組みや活用事例、障がい者の新しい働き方などを学ぶ講演会を開催します。

ロボットの活用で生まれる社会とのつながりや新たな可能性を考えませんか。

申し込みは不要です。

□とき 3月6日(金)午後7時～8時

□ところ 市消防防災センター

□料金 無料

■問 社会福祉課 26-2119

分身ロボット「OriHime」

カメラやマイク、スピーカーが内蔵されたロボット。インターネットを通じて遠隔操作をすることで、離れた場所にいてもその場にいるように声や身振りでコミュニケーションを取ることができます。

※ OriHime は株式会社オリイ研究所の登録商標です



© OriLab Inc.

吉藤オリ氏プロフィール

- ・株式会社オリイ研究所共同創業者代表取締役所長CVO
- ・大学在学中、自身の不登校の経験をもとに孤独解消を目的とした分身ロボットOriHimeを開発し、25歳で株式会社オリイ研究所を設立
- ・OriHimeの他、意思伝達装置や車いす使用者のためのバリアフリーマップアプリなどを開発
- ・「ベッドの上にながら、会いたい人と会い、社会に参加できる未来の実現」を理念に、開発を進めている
- ・趣味は折り紙

